

サイエンス・ランチ

日本の海の外来生物

～ どうやって侵入し、どこにいて、何をしているのか？ ～



主催： NPO 法人 生物多様性フォーラム 生態系サービスで啓蒙啓発プロジェクト

共催： 特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク

写真 カワヒバリガイ

本年（2010年）10月、生物多様性条約 COP10（世界閣僚会議）が名古屋で開催されます。

弊 NPO では、生態系サービスの一つである食を通じて、より分かりやすく生物多様性を理解して頂くために、講師（専門家・研究者）を招き、飲み物や食事をしながら語り合うサイエンス・ランチを開催しています。今回は、貝類をメイン食材に、外来海洋生物の調査・研究をしている奈良大の岩崎敬二教授をお招きしてサイエンス・ランチを開催します。是非、ご参加頂ければ幸いです。

日時： 8月7日（日）11:30～14:45

参加費： 参加費 2,000円（資料代・食材費）※当日徴収します。

定員： 20名

講演： 岩崎 敬二 奈良大学教養部教授。

演題： 「日本の海の外来生物」 ～どうやって侵入し、どこにいて、何をしているのか？～

場所： 小牧市まなび創造館調理室 愛知県小牧市小牧3丁目555番地 ラピオ5階



NPO 法人生物多様性フォーラム <http://www.jf-biodiversity.org/>

〒445-0866 愛知県西尾市塩町16番地 TEL:0563-56-3221 FAX:0563-57-5666

留学生翻訳・通訳作業プロジェクト統括責任者：榊原正利 TEL:090-4851-6008 E-mail: sakakibara@0563.net



NPO 法人生物多様性フォーラムの生態系サービスで啓蒙啓発プロジェクトは地球環境基金の助成を受けて実施しております。



岩崎敬二 奈良大学教養部教授 プロフィール

愛知県出身の動物生態学者です。貝を中心とした生物たちの食う食われる関係や競争・共生関係を研究しつつ、海や川や湖の水生生物の保護活動を行ってきました。

現在は、海の外来生物の分布や生態、在来生態系への影響を研究しています。

岩崎敬二（いわさきけいじ） 教養部 助教授 1957年 愛知県西尾市生まれ

最終学歴： 京都大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）

専門分野・研究テーマ： 動物生態学、自然環境保全学、人間行動学

（自然を成り立たせている生物間の様々な関係と自然の保護・管理との関係）

担当科目： 環境論、人間論、現代の自然像、環境演習、文章表現法など

所属学会： 日本生態学会、日本陸水学会、日本ベントス学会、日本行動学会、日本貝類学会、
個体群生態学会など

「貝にも個性と順位関係がある！」

貝と言えば、のろまで、複雑な知性や個性もない動物と思っ込んでいる人が多いのではないでしょうか？ しかし、私は、世界で初めて、貝にも個性があること、優劣関係や順位関係なども存在すること、順位関係を識別しながら争いを避けて生活していることを発見しました。

貝の個性とは、例えば、同じ種類の貝であっても、毎日朝寝坊ばかりしている怠惰な個体、毎日朝早くから動き回る勤勉な個体、異性を追い掛けては交尾を頻繁に迫る繁殖行動に熱心な個体、繁殖には無関心でもっぱら食ってばかりいる個体などのことです。こういった個性が、成長の速さや繁殖の量に関係し、それがまたけんかの強さ・弱さに関係して、個体毎の順位が決まります。しかし、順位の低い個体は、順位の高い個体に負けてばかりいるのではなく、順位の高い個体に遭遇する機会を避けるように行動することで、無駄な争いを避けていることもわかりました。貝にも個性と順位制があり、それが関係していることを世界で初めて明らかにした、画期的な研究です。

お申込みは、電話、FAX、メールでお願いいたします。

申込み・問合せ先： 特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク

電話：(0568) 74-4011 FAX：(0568) 74-4070 E-mail：komaki.civic-net@me.ccnw.ne.jp

申込締切 7月31日

サイエンス・ランチ 参加申込書

氏名：	
所属：	
連絡先：	